

広報

のあさひ

No. 335

'84

10/15

●朝日町誕生30周年 あすへのチャレンジあさひまち—いい人 いいまち いい暮らし—



仕事ぶりを見る

*一日町長も30歳

わが町が誕生し今年で30歳。記念行事として一日町長が委嘱されました。一日町長になったのは、合併した年昭和29年生まれ（助ノ巻）の鈴木令子さん（助ノ巻）。

鈴木町長は、10月1日職員に迎えられ登庁。町長室で全課長を前に訓辞したあと各職場を巡視。コンピューター室では、いろいろな機器の説明を受け、行政の情報化に感心していました。

●今月の内容●

- 個性ある町みんなの手で……………2
- 9月定例町議会から……………6
- カメラあぐる
朝日のワインと牛肉に舌鼓……………10
- みんなの教育
現代っ子におくろう4本の木(気) ……12
- ふれあい広場 ………………14

広報座談会

個性ある町みんなの手で

朝日町誕生30年 今後の課題

昭和二十九年十一月、一町二村が合併し朝日町が誕生して以来三十年が経ちました。今回は、この三十年のあゆみの中で朝日町はどう変わったのか。そして今後の課題は何なのか。生活環境、産業、文化、教育などの面で話し合っていました。

●司会 朝日町が誕生して三十周年を迎えるわけですが三十年間のあしあとをふり返りながら二十一世紀へ向かって活力ある町づくりを進めるにはどうするか、といった点で今日は皆さんがたから率直な御意見を伺いたいと思います。

まず最初に三十年間をふり返ってみて特に感じられたことはどんなことでしょうか。

整備が進んだ 道路網

●佐藤 私が現在の仕事で最初に手がけたのが合併前の昭和二十三年ごろだったと思いますが、緑ヶ丘に宮宿中学校々舎を建設したの
が思い出にあります。
その後合併もなく朝日

●病院の建設などをやりましたが三十年経った現在、中学校は統合中学校になり旧校舎は解体され、朝日病院も今年から改築工事に入っており、こんなに変わるとは思いませんでした。

●鈴木 私は、宮宿中学校が建設された年に復員してきましたんですが、終戦後なので目ぼしい林は無くなり、製材する材料が無いため製材所の仕事ではたいへん苦労した思い出があります。

●佐藤 会社の事務所も合併当時は現在の「ナカッネ理容所」さんの所に仮事務所を設け、熊谷組の下請け

などをもらって仕事をした
り、建設機械や道具を買って損をしたことなどもあり夢中で仕事をしてきたような気がします。

●熊谷 私は昭和二十八年生まれなので合併当時のことなどは全く分からないんですが合併十周年記念の行事など、いくらか記憶にあります。それに高校へ行くのに冬の朝早くなど今のよう
に除雪も良くなかったのが雪の中を通学したのが思い出されます。

●長岡 私が朝日町へ嫁いで来たのが昭和二十九年十一月なんです。ちょうど朝日町の誕生と同じなので皆さんとは別な意味で感慨を持っていきます。

結婚した当時は冬になると太郎方面へはバスが通らなくなり、実家へ行くにも一日がかりで大変でした。

あのころのことを考えると今はほんとうに幸せだと思っ
うんです。農業の仕事にしても田を耕すのにスキヤクワを使いほとんど人力でしたが今では全部機械化でしょう。特に機械の発達と



鈴木 隆治さん



熊谷 昌彦さん



多田広報委員長

出席者

- 長岡 光子さん (太郎三・主婦)
- 佐藤 昌俊さん (本町・建設業)
- 鈴木 隆治さん (元町・製材業)
- 熊谷 昌彦さん (新宿・教員)
- 司会 広報委員長 多田 秀雄



昭和32年の農作業風景

道路が良くなった点についてはおどろくほどですね。それにしても、これほど世の中が便利になりながら今でもまだ人口が減少し、過疎化が進んでいるなんて考えられないような気がします。

●佐藤 合併当時に比べ特に良くなったのはやはり道路ではないでしょうか。

●長岡 それに家屋ですね。どこの家も新しく立派になり、これ以上良くならないと思

えるほど変りましたね。

●司会 近年は生徒数の減少、嫁不足問題などが深刻になっていますが、これまでの三十年のあゆみの中で反省すべき点、あるいは良かった点なども含めてお伺いしたいと思います。

物質的豊かさ のかげに

●長岡 現在は皆さんごなたも物質的な面では非常に満たされておりますが、一方精神的な面では金銭中心の考え方が強くなったような気がしています。

特に老人を軽視したり、町づくり、地域づくりという点では無関心派が増えてきているのではないのでしょうか。老人を大事にしたり、郷土愛を育てるには小さい子供のところから教えていかな

いと身に付かないですね。いま現在働いている人も大切ですが、これまで一生懸命働いて努力してこられた老人を忘れてはいけな

●鈴木 国民の意識調査に

よると全国民の大半は中流意識を持っているというところで、生活面などは確かにどこへ行ってもそんなに変わらない生活をしていると思います。

だから他人と同じ生活をするには働かなければならず、金のかかる生活になってきたんですね。

そういうところに金銭中心的なものの考え方になりがちなの原因があるのではないのでしょうか。

ただいま長岡さんから老人を軽視するような傾向が見られるのではないかと、という意見がありました。家庭内で老人との会話なども少なくなっているような気がします。そこで元町では部落の運動会の時、これまでのごちそうを準備し、特別席を設けて接待して

たんです。しかし、それでは逆に老人を疎外しているような感じを受けるので今年からはごちそうは準備するが家庭の人たちと一緒に話をしながら楽しんでもらうように思っているんです。

どちらが老人たちにとって楽しいんだろうかと考えているところです。

●佐藤 老人の求職希望が以外に多い、というテレビ放送を見て驚きました。

家庭内を見ても老人のする仕事は昔に比べ、ほんとうに少なくなっているんですね。

例えば昔は孫の子守、草刈り、ワラ仕事など、いくらでも仕事はあったし、老人の役割も十分に果せたんですが、今の世の中はどちらかというとも老人の役割を必要としない方向へ変わってきたのではないのでしょうか。

●熊谷 家庭内での親と子供の会話も少なくなっていると思えますね。昔は現在のように職業も多様化していないので農作業を手伝いさせながら親子の話し合いなどもできたんじゃないでしょうか。

●司会 皆さんがたからお話しいただいたように、この三十年の間に世の中は大きく変わってきました。しかしながら、世の中の変化に対応できずに、ただ

押し流されてきた、といった反省すべきことはありませんか。

子どもの友は 親の友

●鈴木 私が感じていることは住宅の構造をもっと考える必要があると思うんです。茶の間や居間にいながら常に子供の行動が分かるような間取りにするとか、子供の個室を造る場合には充分監視のできるようにすべきだと思ったり、まして、別棟になっている小屋に子供部屋を造るのは、いくら子供の自由を認めるにしても考えなければならぬ

長岡 光子さん

佐藤 昌俊さん



昭和38年、都市計画道路前の大町通り

題ではないでしょうか。
●長岡 子供の友達に対し親としても関心を払うべきだと思っんです。私の家庭では子供の友達も自分の子供のように、あるいは親とも友達のような付き合い方をしてきたんですが、そういう友達はいいですね。学校を卒業してから何年経っても遊びに来たり、手伝いなども来てくれます。

●熊谷 中学生ぐらいになると特に女生徒は父親とあまり話をしなくなるんです

が、その辺に親子の絆が薄れてくる原因があるのではないのでしょうか。

●佐藤 時代がこんなに進歩しているのに、食生活の面では何を食べても昔のほうが味の上ではおいしさがあつたような気がします。今はぜいたくになっておいしさが感じなくなったのでしょうか。

●長岡 確かに昔の方がおいしさを感じたんですね。冷凍食品や加工食品もあり無かつたし、食べ物に季節を感じました。その点ではいつも旬の味があつたのでしょうか。

●佐藤 食生活面といえば学校給食が依然として続けられていますが、学校給食は食糧不足の時代に始められ、それなりの効果をあげてきたと思っんです。

しかし、その役割はもう終つたのではないのでしょうか。これだけ生活が豊かになつたんだから、こんどは別の角度から見直してみることがあると思っます。
●鈴木 母親は自分の弁当

は作るが子供の分まで作るのが面倒なのではないか。

母親が学校給食を無くしては困ると言っているのではないですか。

●司会 いままでのお話を土台にしなが、さて朝日町の今後の課題は何か、二十一世紀へ向けてどんな町づくりが必要なのか、といった点について御意見を伺います。

中心部の

下水道整備を

●佐藤 この前フランスへ行つたんですが、その時あつた公園に行つて驚きました。あんなに高台にある公園まで下水道が完備され、清掃が行き届いているし、ずいぶん進んでいると感心してききました。

それに比べGNPで世界第二位とはいえ、公共投資面では日本はまだ遅れていると思っます。大谷地区に下水道が完備されましたが朝日町でも宮宿地区をはじめ、これからも下水道事業に力を入れるべき

だと思っます。

それから、道路整備では山形朝日線の早期完成が大きな課題ですね。

●熊谷 山形朝日線の道路整備は朝日町にとつてはほんとうに重要な課題ですね。あの道路が完備されれば山形までは容易に通動できるし、三十分圏内であれば、すぐ隣の町というイメージがするので感覚的にも大分違つてくるでしょうね。

●佐藤 企業誘致はどうなんでしょうか。山形空港の整備も進んでいるし、セラミックス関連産業のような企業ならば有望なので何とか誘致できないでしょうか。

しかし町内での労働力の充足という点も充分考慮しないといけないし、まして先端産業であれば優秀な労働力を必要としますから大変ですね。

●長岡 冬期間の克雪対策を進めるべきだと思っます。宮宿の中心街の消雪道路も必要ですが、融雪溝の整備できる地域はたくさんあると思っますので、まず

やれる所からどんどん進めてほしいですね。

融雪溝ならば維持費もかららないし、通学道路だけでも早く実現できるようにしたいですね。

●司会 長岡さん、婦人の立場から結婚難について何か手だてとして考えておられることはありませんか。

育てよう

愛町精神

●長岡 即効的な解決方法はなかなか見つかりませんが、地域ぐるみで嫁さんを大切に心がけが必要だと思っっています。

よその町の人から朝日町に嫁にやれば安心だ、幸せだ、と言われるような町づくりをみんなでやっていきたいと思っています。婦人会でも町づくりは人づくりから、ということのでそのために良い家庭づくりを基準に頑張っているんです。

どんな組織でも同じだと思っますが、いくら役員だけが頑張っても良くはなり

ません。会員一人ひとりが地域のために少しでも役に立つような行動を起してくれることが大事だと思うんです。

●司会 子供のころから自分の町は好きなんだ、といった愛町心を育てることが大切だと思うんですが、教育面における郷土の勉強や生産教育、あるいは町の高校を育てていくための配慮などについて、教師として熊谷先生はどのように考えておられますか。

●熊谷 確かに生徒に対する生産教育や労働をさせるといった点では昔からみれば少なくなっているのは事実だと思います。

家庭でも子供に家の手伝いなどはできるだけさせないようにはしているのではないですか。

学校教育の中では郷土学習として小学校三年の時に副読本を使って勉強していますし、中学校でも郷土を良く知ろう、ということであるいろいろな郷土に関連した課題を与え、研究するようにはしているんです。

それから朝日分校についてはさまざまな問題点はあると思うんですが、まずもって校舎を整備すべきではないですか。小学校や中学校は立派で教育施設は整備されましたが高校だけが取り残されたような感じがしますので、早急に整備されるように願っているんです。

ほんとうに農業が振興され、投資された分だけ町が豊かになったか、といえは決してそうとばかりはいえない面があると思います。が、工業側の立場から鈴木さん、町政に対し要望することはございませんか。

そうすれば朝日分校へ入る生徒も増えてくるのではないのでしょうか。

●鈴木 農業は我々からみれば恵まれすぎています。五、六人協同ですと何をやるにも相当高率の補助があり、そのうえ低利の融資制度もあり、うらやましい限りですね。工業関係ではほとんど補助制度などはありません。それに私のような林業関係に携わっている業種は現在が最も大変な時代ではないかと思っっているんです。

以上が高校進学なのでみんなが競争意識を持っているが、それは決して悪いことではなく、いい意味でのライバル意識を持って頑張ることは良いことです。

ただし、親自身が逆に子供に対し競争意識をかき立てるように仕向けないでほしいですね。

山林の効用を 見直そう

●司会 町ではこれまで農業に対しばく大な投資をして生産基盤を整備してきたわけですが、それによって

木材業種には一つのサイクルがあるんですね。家屋の建築も一段落、今は谷間になっていきます。

それから今の若い人は林業に対する関心は全くといっていいほどありません。

自分所有の山林の境

界さえ知らないでいる人が多いんです。もっと山林や樹木の効用を見直し、有るものを伐って使うだけでなく、育てていく心がけが必要なのではないでしょうか。

特に広葉樹などは百年、二百年といった周期で考えていかないと山は死んでしまいます。

ませんか。

●熊谷 朝日中学校に関しては統合によるデメリットはあまり感じられず、むしろ良い方向に進んでいると思っています。

ただ冬期などは通学面で部活動の時間に多少制限される面はありますが、ほかの中学校と比べ非行などもなく、いい面がでていっているのではないのでしょうか。

●長岡 中学校は統合して良い方向へ進んでいるというところはたいへんけっこうですね。

朝日町誕生三十年をふりかえてみて、合併がほんとうに町民にとって幸せであったのか、一つの節目として見直してみることが大事なことですね。

●司会 これからの時代は町に対して要求するだけでなく、みんながそれぞれの役割を演じながら自分たちで町づくりをしなければならぬのではないかと、ということをおよび本日の座談会の結論にして終りたいと思います。たいへんありがとうございました。



昭和45年から操業を始めた縫製会社(株)丸吉

*9月/定/例/町/議/会/か/ら/

町長の町政一般報告

九月定例町議会は九月十一日から八日間の日程で開かれ、町長の町政一般報告や監査委員の決算審査報告のあと、三議員による一般質問が活発に行われました。その後、昭和五十八年度一般会計決算、特別会計決算など二十四議案を原案どおり可決して閉会しました。

町道改良費などを補正

一般会計 30億7,561万円に



●財政 国も地方も共に厳しい財政環境の中において公共事業等の上期契約に努め、地域経済の発展と早期完成に鋭意努力しているところです。

●企画 家族旅行村について、地区指定につきまして、まだ明確になっていませんが、六十年指定はかなり有望になっていると判断しています。

●住民 九月七日、八日の二日間にわたり、町内の敬老慰問を行いました。今年の喜寿者は九十九人、八十五歳以上の長寿者は百六十人で、内米寿者は十五人となっています。

●保健 老人保健事業のうち、胃がん検診については

四十歳以上の人を対象に行い、九六〇名が受診、内二一七名が精密検診を受け、がん等の所見があったかたが七三名おりました。手術を行ったかたは二名で経過は良好です。

子宮がん検診は三十歳以上の婦人を対象に行い、六一六名が受診、有所見者二二名のうち二名が手術を行い経過は良好です。

●建設 工事発注状況について、雪谷線舗装工事は、七一〇万円で大東・那須舗装共同企業体、水本小学校線道路改良工事一、一〇〇万円、前田沢下芦沢線道路改良工事八二〇万円、大清水線道路改良工事一、三五〇万円については、大東建設が落札。滝の沢線舗装工事は一、二六〇万円で東北ニチレキ工事が落札するなどそれぞれ契約を締結し、着工または完成をしているところと見られます。なお、現在までの発注率は約五五・

二割です。

●産業 七月中旬からの日照り続きによって山間地の一部では白乾亀裂を生じた水田はあるものの、全体的に生育、着粒状況も良く、豊作の徴候だと存じております。畑作とくに果樹については、水不足はもろろんですが玉伸びがあまりなく、ダニ類の発生もあり憂慮しているところです。ホップ、タバコは平年並の作柄と判断しております。

一般質問

質問と答弁の

あらまし (通告順)

農業問題

について

●鈴木正二議員 今年、異常気象による干ばつの被害が心配された。特に当町

のりんご産業にとって産地間競争に打ち勝つには畑地の灌がい施設は必須要件と思う。灌水対策をいかに考えておられるか問う。

今年には豊作が見込まれるが豊作が素直に農家の喜びとなる様な米の販売の施策について当局はどのように考え、実施されるか問う。

また、超過米を有効に所得に結び付ける方策をどう考えているか。

■町長 畑地灌水は多額の経費と水源の確保が必要である。水資源、耕作者の意欲等を調査研究したい。

米の販売施策については当町では具体的なつめをしていない現状である。充分に町、農協、生産者と将来に悔いを残すことのないよう対応策を講じていきたい。

超過米については、現在の所、対策を承知してない。

啓蒙看板の

管理について

■鈴木功議員 町の各所に各種団体の看板が数多く建てられている。中には破損

した看板が見られるが、今後これらを、更新、撤去されるのか、また統一した形で持っていくのか。

それぞれ各団体が熱心に努力して、明るい町づくり而努力していることに、敬意を表しますが、その後の管理について、充分検討する必要があると思うが、町長の考え方、各課の取り組み方を問う。

■町長 手ばかりであったと率直に反省している。

今までは、有志者がしていた。今後、設置者が、責任を持って管理するよう指導すべきと考える。近く、総点検をして、直すよう指示をしている。

■保健課長 衛生組合で、年二回点検し、冬期間取り外している。

■住民課長 部落標識等は巡回して修理している。交通安全等は各種団体の会議で啓蒙している。消防等の標識は予算上で対処したい

■企画課長 観光関係については、毎年巡回をして修理等をしている。今後早目に対処したい。

■教育課長 健全育成等の看板は、関係課と話し合っ

て見にくいものは取り外したい。大会看板については、終了後直ちに撤去するよう指導したい。

スポーツ振興

について

■堀重雄議員 67国体を目指した選手の養成と強化へ、本格的な取り組みがな

されていない。スポーツ振興の一つとして、基金構想を打ち立て、67国体への気運盛り上げと体育振興を、積極的に進めるべきと思う

が考えはないか。

■町長 確かに基金制度は望ましいと思う。

五千万円位ないと、値打ちがないのではないかな。

育英資金の様にはいかな。御趣旨には賛成である。設ける方向で充分検討したい。

一般会計
昭和58年度決算
1億2,000万円の剰余金

11月25日
町長選挙 町議会議員選挙
町議補欠選挙二名に

昭和58年度の一般会計決算規模は、歳入 32億691万円、歳出30億8,687万円で、差引残額は 約1億2,000万円となりました。

これは、財源の確保と経費節減に努めた結果の表れといえますが、反面、財政構造の健全度を示す重要な基準ともいえる経常収支比率は89.8%となっており、その中の義務的経費は70%を超しているという財政の硬直化がみられます。

任期満了(十二月七日)に伴う町長選挙が次の日程で行われます。

▽選挙期日 十一月二十五日(日)

▽告示日 十一月二十日(火)

町長選挙と同時に、町議会議員の補欠選挙も行われます。

今年四月、海野武議員(70歳)が一身の都合で辞職され、一名の欠員となっていました。

十月九日、長岡源議員(60歳)が急性心不全で急逝されたために、二名の補欠選挙が行われることになりました。

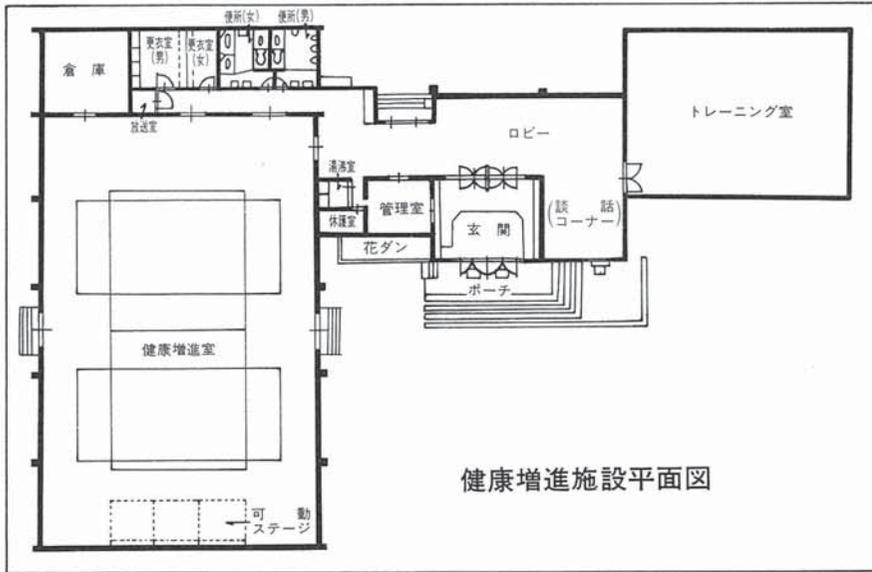
三ない運動



健康増進施設が着工

常盤
西部公園に

*60年度完成



健康増進施設平面図

数年来、早期建設が望まれていた健康増進施設の起工式が、十月三日常盤の西部公園で行われました。

この施設は、第三期山村振興農林漁業対策事業の一環として建設されるもので地区民の健康・体力の増進を図るとともに、スポーツ・レクリエーションを通して人々の交流の拠点とすることが目的とされています。

建物の構造は鉄骨造り平屋建て。総床面積は九七七・四三平方メートルで、バレーボールコートのとれる健康増進室や談話コーナーなどを付け備えています。

総事業費は一億三、八五〇万円。今年度から二カ年事業で工事が行われることになっていますが、今年度分で九、〇〇〇万円、来年度に四、八五〇万円の予算が見込まれています。

この施設の完成により、スポーツ・レクリエーションを通して西部地区民の拠点として活用されるものと大いに期待されています。

無駄なのか交流会

東京連絡事務所だより No. 28

ワイン祭りの前夜、東京で働く女性十四名をつれて町青年のかたがたが催してくれた歓迎パーティーに行つての感想を本音で述べてみたい(全てとは申しませんが)。いろいろ御批判は覚悟しております。

①「催し」自体大いに評価するが、相手方に主旨が伝わらない。

②形式的なパーティーになりすぎて面白くない。町青年独自の方法がなかったか。

③勉強不足なのか、女性の心をつかむまでにいたらない。後で女性の意見を聞くと、会話の内容が乏しく飽きが来る。

(例)「あなたは何をやってるの」の質問に「リングを作っています」と答え、それから先の会話、話題がなかなか出ない。

④「友達になりたい」の一

心で、態度自体何か「ギラギラ」しすぎ、スマートさが不足。
以上のような観点から、交流会などを何回やつても無駄なのか、と心の渴きをかくすことができなかつた。

反面、おおぜいいる若者の中から、このパーティーに出席した青年たちに拍手を送ると同時に、口では、「農業後継者不足問題、嫁不足問題は町民みんなの課題」と言っている割には、一人の大人もいなかったのが寂しい。一人ぐらいは出席して、あれこれ指導するとともに現代ヤングの心理をつかむこともあながち無駄とも思われないが、
自分に関係ない事となるとすべて無関心では、いつまでたっても解決に結びつかない。だれでも口だけなら何とも言えるもの。こ



「税の話」⑥

固定資産

来年1月に評価替え

●土地

評価替えは、3年間の地価の変動及び地価調査(公共用地買収の基準)を考慮し、実売買価格(土地取引価格)に近づけるために行われます。

各地目の基準地(最高地)価格は県で決定し、その後一筆ごとの価格を市町村が決定することとなります。

◎60年評価替えの県指示価格(最高地)は次のとおりです。

宅地 11,800円/㎡(1.27倍)

※道路の状況により、上記価格を超える場合があります。

田 108,000円/千㎡(1.07倍)

畑 50,000円/千㎡(1.04倍)

山林 19,100円/千㎡(1.03倍)

なお、57年以降立地条件の変化(道路改良・土地改良等)により税負担が一挙に増えるのを避けるため、緩和措置が設けられます。

●家屋

既存の建物について、現在の評価額と新評価額(建築費の変動、経過年数による再計算)との差が著しい場合は1割程度の増減が行われることとなります。

●償却資産

事業用の機械・器具について、申告に基づき減価償却計算により決定することとなります。



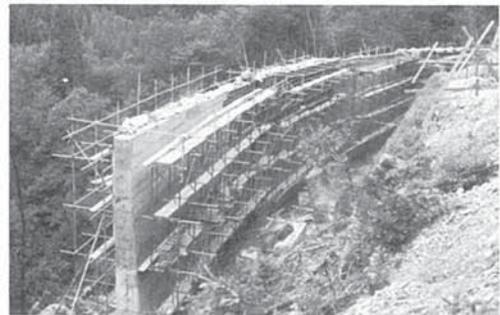
山形朝日線

整備促進を急げ

*今年度3億円の工事

わが町と県都山形市とを結ぶ主要地方道山形朝日線の整備促進については、これまで町あげて取り組んできました。とくに昨年度には、県道整備促進のために町内全戸から100円の協力金をお願いし、その中で山形朝日線の整備促進運動を強力に進めています。

現在、朝日町側では作業用道路を切って本道工事を部分的に進めています。今年度朝日町側の工事に7,500万円の予算が付き、77mにわたる擁壁工事が行われました。山辺町側では2億2,800万円の予算で工事が実施され、少しずつですが着々と整備が進んでいます。



山岳部分の工事が難航している

の辺から見直していかないと、残念でならない。旺盛な好奇心を発揮することは教養に結びつく。教養とは、無駄の累積だといふ。読書の無駄、付き合いの無駄、数々の無駄を多くやったほうが教養も身につく。

教養を身につけることが大事ではないだろうか。道端に咲いている小さな花でも、花は花なりに精いっぱい咲いているから美しい。人間もその人なりに一生懸命生きているから感動を与える。人間関係というのは感動であらう。感動のない関係は長続きしない。青年の皆さん、がんばろう。いつか来る感動を信じながら……。

(大井 尚武)

カメラあぐる

朝日のワインと牛肉に舌鼓

第四回ワイン祭りに一、六〇〇人



▲受付には朝から行列が出来た



▲アメリカからの留学生も参加



▲特産品即売コーナーの売れ行きも上々



▶ パーベキューコーナーから思い思いに盛り付ける



▲おおぜいの人で会場は満員。ワインの里もじみちに定着しつつある



▲若者交流会は熱気でムンムン

*前夜には若者交流会も

恒例となったワイン祭りが、去る9月16日、上郷ダム公園で盛大に開催されました。この日は、くもり空でまずまずの天気。町内外から1,600人の参加、とこれまでで最高の人出でにぎわい、町産のワイン、赤・白・ロゼ合わせて1,800ℓ、牛肉二頭分500kgをたいらげました。

祭りの前夜には、東京から来町した独身女性14人と町の青年男女40人が参加して、若者交流会が開かれました。会は立食パーティー形式、長井市から呼んだロックバンド「ランダム」の演奏も手伝い、若者の熱気あふれる交流会となりました。

▼どれが朝日町ワインでしょうか



▶会社ぐるみで参加した団体さん、乾杯!



▶一日町長が祭りに花を添えた



現代っ子にぶくろころ四本の木(気)

やる気・根気を育てるために

現代っ子は知識は豊富になっていますが、やる気がないとか、根気がたりないといわれます。それは、なぜなのか。そして、それがほんとうであるなら、やる気や根気のある現代っ子にするにはどうすればいいのか。私たち大人が、真剣に考えてみる時期になつていのではないでしようか。

現代っ子は

未来からの留学生

子どもは未来からの留学生であるとしばしば耳にしますが、これはどういうことなのでしょう。未来をつくるのは常に子どもですから、そういう意味では、現代っ子は未来からの留学生といつて間違いありません。だから、現代っ子にどのような教育をするのかによって、未来が様々に変化することになります。いい未来になるか、悪い未来になるかは、現代っ子の教育

しだいということですが。つまり、私たちは、子どもを通して未来をつくることができるのです。

「子どもは未来からの留学生」ということは、ま

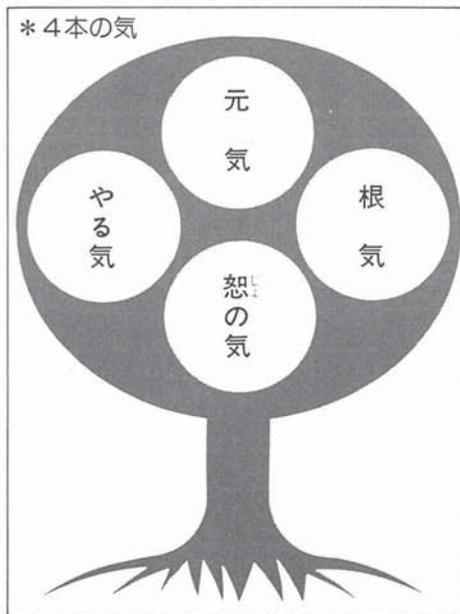
現代っ子は

スケジュール人間

今の小学生の様子を見てみるとなかなか忙しいようです。ピアノやエレクトーンは、一、二年生ころから

た、子どもは未来からの預かりものだから、大切に扱わなければならないということでもあります。これは、未来に対する現代の責任ということでもあろう。ともかく、良くも悪くも、現代っ子は現代大人の反映であり、現代大人の縮図なのです。

*4本の気



す。だから、そのころになつてくると、放課後家へ帰ってからの行動もだんだん忙しくなつてきます。

時には、一日に二つの習い事を盛り込んだスケジュールをこなしている子どももいます。

これが五・六年生にもなると、各種体育大会や学校行事などで中心的存在とな

るため、学校の生活も更に忙しくなり、ますます過密なスケジュールをこなさなければならなりません。

こうしてみると、現代っ子は、学校での様々な活動のほかに、家庭生活においても、塾での習い事や宿題などの勉強、それにテレビや遊びと、次々とスケジュールをこなすことが要求さ



子どもにとって仲間との遊びがどれほどたいせつなものか、を私たちは理解したい

現代っ子の夢

れます。そして、このようなハードなスケジュールを次々とこなしていける子が、良い子だとされるのです。

では、このようなスケジュール人間である現代っ子は、どのような夢を持っているのでしょうか。ここにも現代っ子の特徴が現われていると思います。一言でいうならば、非常に現実的です。例えば、「大きくなったらどんなことをしてみたいか」とか「世界一周旅行をしてみたい」とか「富士山の頂上からスキーですべってみよう」とか「免許を取りたい」とか「会社につとめたい」、「公務員になりたい」などの現実派も多い。

「人間」というものもあって、ちょっとびっくりさせられます。そのほかでは、「まじめな人間」とか「やさしい人間」「人に親切にできる人間」という抽象的・優等生的なものも多く見

現代っ子に おくる

四本の木(気)

られます。

このようにみてきますと、現代っ子の夢は一般に、現実的どころか抽象的な面が多く、型にはまった現代社会を如実に反映しているように思われます。

う、大人の感覚で判断してしまっている場合が多いように思われます。

このような、現代っ子に対する大人の考えを修正することによって、私たちは、現代っ子に四本の木(気)をおくることができるのです。

それは、元氣(明朗・快活)、やる気(自主・自律)根氣(忍耐・不屈)、怒の氣(寛容・思いやり)の四つです。この四本の木(気)を子どもたちの心の中に育てていくことによって、ほんとうに豊かな未来社会が、現代っ子の手によって創造されるものと思うのです。

△編集／教育広報委員会▽



柔道少年団

河北町の大会で 優秀な成績

去る九月十五日開かれた河北町八幡宮奉納柔道大会に、朝日町柔道スポーツ少年団から十名の選手が参加し、見事な成績を収めました。

- 柔道少年団は、現在十三名が入団、日曜の朝と木曜の夜の週二回練習に励んでいます。
- ▽一年の部 三位 海野浩
 - 三(西町)
 - ▽二年の部 一位 今井剛 (新宿)
 - ▽三年の部 一位 鈴木秀則 (小原) 三位 長岡智晃 (四ノ沢)
 - ▽五年の部 三位 近藤雄二 (栄町)
 - ▽六年の部 三位 海野建作 (西町)

住民も利用できる スクールバス水本線 運行開始

これまで、水本・下芦沢区民から強く要望されていたスクールバス(住民利用)水本線が、九月二十一日から運行を開始しました。水本・下芦沢方面のバス路線がなく、住民の足を確保するため、これまで山形交通等へ路線の新設を求めていましたが、山交バス路線の新設はむずかしく、このたびスクールバスを利用することになりました。このスクールバス水本線



小林町長をはじめ関係者がテープカット

この広場は、町内の話題や皆さんの声でつくっていくページです。どしどしお寄せください。

は、摂待公民館前から役場車庫までの区間を運行。中学生の登校、下校に合わせ一日一往復となっています。利用については、山交バス路線のある区間内での乗り降りにはできないことになっています。運賃は始発地から終着地までで四百円。マイカーが普及してきたとはいうものの、婦人やお年寄りの足の確保に一役買うものと期待されています。

みんちちは 保健婦です

食べすぎに 気をつけよう

秋は「食欲の秋」とか「味覚の秋」といわれるほどで、さわやかな気候で食欲もよくなり、また季節の食品も豊富に出まわります。

夏の暑さで消耗した体力を回復させるのはよいのですが、ついつい油断して食べすぎないように注意したいものです。

食べすぎによる肥満が、高血圧や動脈硬化、糖尿病などの成人病を誘発しやすくすることは、よくご存知のとおりです。

腹八分目の食事を守り、運動不足にならないように注意しましょう。

*定期的に体重をはかる

体重の増減チェックは、健康度をつかむ一つの目安です。理由もなく急激に体重が減ってくる場合は、健康診断が必要です。

*朝食は一日の健康的活動力

朝食を抜けば、それだけやせられると思いきや、これにまらな人がいます。食事は減らすと空腹時のエネルギー貯蔵のため、脂肪組織が発達するという実験データがあるほどです。

また、朝食を抜くと前の晩から15〜16時間絶食状態になり、そのため血糖が下がって脳神経の働きがぶくなくなり仕事の能率低下の原因にもつながります。

早起きしてラジオ体操をしてバランスのとれた朝食をとるのが健康生活です。



今日の顔

美術展示の部で
全国青年大会に出場する

小原 清野 寿浩さん



九月に行われた県青年大会美術展示の部で、彼の描いた点描画がみごと準優勝に輝き全国大会に出展される。

朝日分校時代は数々の賞を取り、卒業して北海道の自衛隊第五戦車大隊に入隊し、そこでも頭角を現わし、戦車に乗るかたわら、隊の看板なども作成してきた。「自分の絵の中の世界に溶け込めば、すごく楽しくて、一段落終るまではベンは置きません。中途半端はきらいですね」

青年団の行事等の看板はもちろん、先に行われた町民駅伝競走大会の参加記念手ぬぐいの図案も、彼が作成したものである。「隊には未練はありませんが、僕はリングゴづくりの精を出します。でも趣味として絵は一生描きつづけていきたいと思います。いつかはあのオホーツクの海を描いてみたいですね」

（広報委員・長岡裕二）

連合青年団 県青年大会で7位

*6名が全国大会へ

去る9月8日から3日間にわたり、第33回山形県青年大会が天童市で開催され、朝日町連合青年団は総合で7位と、上位入賞を果たしました。

今大会のテーマは「競え青春、伸ばせ友情、広げよう人間愛」。県内から29の青年団が参加し、若いエネルギーをぶっつけ合いました。

わが町からは92名の青年が参加。体育・文化芸能の各種目で活躍しました。特に陸上や美術工芸では第1位に輝くなど優秀な成績を収め、6名が11月に開かれる全国青年大会へ出場することになりました。

全国大会出場者は次のとおりです。

- ▷送 橋・海 野 宏 行 (1,500m)
- ▷常 盤・加 藤 修 一 (三種)
- ▷大 滝・佐 藤 武 志 (美術工芸)
- ▷小 原・清 野 寿 浩 (")
- ▷下芦沢・大 滝 英 子 (書道)
- ▷下芦沢・岡 崎 彦 (写真)

朝日中

新人選手たち大活躍

☆西村山中学校新入体育大会

- 去る九月二十九日、三十日の両日、西村山中学校新入体育大会が開かれ、朝日中は、各種目にわたり優秀な成績をあげました。
- ▽優勝
- テニス男子団体
 - 剣道二年女子団体
 - 剣道一年男子団体A
 - 剣道二年女子個人〓小野由美
 - 剣道一年男子個人〓遠藤勇
 - ▽第二位
 - ソフトボール
 - バスケットボール女子
 - 剣道二年男子団体
 - 剣道一年男子団体B
 - 剣道二年女子個人〓清野尚美
 - ▽第三位
 - 野球
- 卓球男子団体
○卓球女子団体
○テニス男子個人〓五十嵐敦・小野和俊組
○卓球女子個人〓長岡枝穂子
○剣道一年男子個人〓志藤晃一、相楽俊



熱戦を展開する朝日中女子バスケットチーム

少年時代の冒険心を忘れずに

大竹 紘 八 郎

《東京都立川市若葉町3-70-14》



*プロフィール

- 昭和14年/和合大隅生れ
 - 昭和26年/和合小学校卒
 - 昭和29年/宮宿中学校卒
 - 昭和32年/寒河江高校卒
 - 昭和37年/中央大学卒
- 日本テレビ放送網(NTV)入社、現在に至る
- 家族/妻、長男(中一)、次男(小五)
 - 趣味/テニス、スキー、旅行、水泳、ほか

例年になく短かった春のあとに長く暑い夏が通り過ぎて行きました。朝日町も実りの秋を迎え、こがね色の稲穂と枝もたわわなりンゴに色どられていていることでしょう。

私は大隅に生まれ中学卒業まで同地で過しました。子供のころは小柄で内気に見えた反面、けっこうワンパク坊主だった様です。生家が明鏡橋際だったので、毎日のように川遊びに興じ、泳ぎや釣りで明け暮れたものです。カジカ取りに夢中になり、石をひっくり返しては鮎釣のオヤジサンに追いたてられたり、その他諸々、限らないイタズラの数々を仕出かし枚挙にいとまがない有様でした。さて、話は少々変り、食

べ物のこと：味覚嗜好は幼児体験とのかかわりが深いといわれていますが、私も子供のころ、青菜漬、オミヅケ等は味がカラ過ぎたためか、苦手でした。今は何ともなつかしく、こちらのデパートで山形の物産展が催されると必ず求める様にしております。故郷の思い出を家族に話しながら食事をするのも楽しみの一つです。

私は東京に出て二十数年になります。昭和三十七年NTVに入社して以来、現在までテレビ放送の仕事にたずさわっております。仕事は複雑でひとことでは説明しにくいのですが、例えば、スポーツ中継の映像や音声を整整室で指令を出したり、番組のビデオテ



*記念式典

- ▷とき 11月1日(木) 午前9時30分～11時30分
 - ▷ところ 中央公民館(開発センター)
 - ▷内容 式典、自治功労者・善行者表彰、優良区表彰、町の動物・鳥の発表、わが村(区)のキャッチフレーズ発表、町づくり提言発表など
- ※御気軽に出席ください。

*町民パーティー

- ▷とき 11月1日正午～午後1時
 - ▷ところ 町民体育館
 - ▷会費 1人1,000円
 - ▷申込 会費を添えて10月25日まで役場総務課へ
- ※アトラクションあります。

*あさひ めい人会

- ▷とき 11月1日 昼の部・午後2時、夜の部・午後6時30分
- ▷ところ 中央公民館大ホール
- ▷公演内容(予定) 謡曲仕舞(佐竹松穂) 日舞(若柳由美香) 民謡(白田鴻秋) 尺八(矢下勇蔵) 茶道・華道の実演など
- ▷入場料 1人 500円

*芸文祭・文化フェスティバル

- ▷芸文祭 11月2日～4日、中央・西部・北部公民館などで。11月3日は芸能発表会やお茶会
 - ▷文化フェスティバル 11月4日 12時45分から中央公民館。創作劇、ミュージックコンテスト、バンド演奏など。
- 入場料は大人300円、中高校生200円、小学以下無料

*第6回産業まつり

- ▷とき 11月17日(土) 午前9時～午後6時
- 11月18日(日) 午前9時～午後4時
- ▷ところ 町民体育館、中央公民館
- ▷内容 農業、工業、商業の各種展示・即売会

県民スポーツ西村山大会で健闘

九月二十三日、第十回県民スポーツ大会西村山地区大会が種目別に会場を各市町に分けて行われました。朝日町勢は各種目で奮闘し、優秀な成績を収めました。成績は次のとおり。

- ▽少年少女剣道
 - 男子 AブロックⅡ二位
 - ・大谷 A、三位・宮宿 BブロックⅡ二位・送橋 A、三位・大谷 B 女子 AブロックⅡ一位
 - ・大谷 BブロックⅡ二位・宮宿 三位・送橋

▽親子卓球

母親と男子Ⅱ三位・阿部あや子、渉 母親と女子Ⅱ三位・渡辺由利子、めぐみ

▽一般卓球

成年女子Ⅱ二位・朝日ママ卓球クラブ 婦人バレーボール 二位・朝日ママ

▽ソフトボール

一般女子Ⅱ一位・朝日ママソフトボール愛好会 少年少女ミニバスケ

少年Ⅱ二位・和合 少女Ⅱ三位・和合

浜っ子と剣道交流会

☆大沼少年剣道クラブ

このほど、大沼少年剣道クラブ（小林昇代表・会員二十名）は、横浜市の最上道場の創立十五周年記念大会に招かれ、道場の子どもらと試合をして見事な成績を収めました。参加したのは、小林豊くん、小林教幸くん、小林正人くんの三名ですが、低、高学年別トーナメント戦の結果、教幸くんが二位、豊くんが三位と健闘しました。道場主の最上良一さんは大沼出身で、昨年夏、道場の子どもらが大沼に来てお世話になったお返しにと、今回の記念大会への招待となったもの。



入賞し喜びの大沼少年剣道クラブの子どもたち

三人は、昨年来町した子どもと対戦し、また試合が終わったあとで、いろいろな話をしたりして、さらに友好を深めてきました。

ふるさとへの便り

▶ 34 ◀

ブを編集したり、番組製作のあらゆる作業にタッチしております。朝日町の皆さまにも系列局のYBCを通じて番組を御覧いただいているかと存じます。何しろ一秒を争う真剣勝負ですが私の指でスイッチした電波が故郷にも届いているかと思ふとひそかにノスタルジアを感じることはありません。放送業界もニューメディア

ア時代突入とかでまったく目まぐるしい昨今です。私も少年時代への様に旺盛な好奇心と冒険心を忘れず頑張りたいと思います。帰郷のたびに立派に変身する朝日町に誇りを持つと共に、子供のころの記憶との差が大きくなることに若干のさみしさを感じます。朝日町に実り豊かな秋が訪れる事を祈ります。

送橋小など表彰受ける

*交通安全県民大会

このほど鶴岡市で開かれた交通安全県民大会の席上、じみちな交通安全活動を続けてきたかたがたに対する表彰が行われました。

わが町でも2団体4名が輝かしい表彰を受けました。

- ▷ 県知事表彰
送橋小交通安全隊（清野泰彦代表）
- ▷ 県警本部長表彰
大谷小大暮山分校（鈴木由美代表）
清野馨（四ノ沢）、菅井進（沼向）、鈴木功（松程）
- ▷ 県交通安全協会長表彰
宮宿駐在所巡查部長 釜谷猛



***新刊書あんない**

▷エネルギーと地球の未来(竹内均, 長谷川慶太郎他)▷シェーズ(くろすとしゆき)▷ごはんを美味しく食べる本(吉沢久子)▷食と農を問い直す(日本型農業構築研究会)▷香りの花束~ハーブのある暮らしから~(広田靨子)▷百科・絵で見る家庭菜園▷魚の生態~海魚篇~(木村重)▷PR誌ハンドブック▷人の噂も五七五(山藤章二)▷女の銃(夏樹静子)▷ふたつの結婚指輪(今村優理子)▷古文真宝▷花と緑のことは(荒垣秀雄)▷絵葉書の余白に~文化のすきまを旅する~(鶴見俊輔)

***農協で章(マーク)募集**

山形朝日農協合併十周年に当たり、内外に朝日町農業をアピールし、これからの農業がますます発展することを目的として、当農協独自の章(マーク)を製作することになりました。募集要項は次のとおりです。

- ①テーマ
朝日町を具象化(朝日連峰, 最上川, りんご, 白い雪など)
- ②規格
B5版(25.7×17.8センチ)ケント紙もしくは画用紙(白色に限る)
- ③記入事項(裏面に)
住所, 氏名, 年齢, 製作理由
- ④賞金
特選(1点) 5万円
佳作(3点) 1万円
参加賞(全点) 記念品
- ⑤締切
昭和59年12月末日
- ⑥発表
農協だより「2月号」
- ⑦申込先
農協各支所および企画管理部

まで。

その他不明な点は、企画管理部にお問合せください。(7-3535)

***求人あんない**

●朝日電気工事(株)

(☎7-2242)

電気工事士を志す人2名, 18歳から30歳ぐらいまで。健康で自動車運転免許を持っているか。各種保険, 退職金制度あり。10月末日まで当社へ。

●朝日ビニール工業(株)

(☎8-2221)

女子従業員10名。季節従業員(12月~4月)も同時募集中。

●アサヒ技研 (☎7-2467)

女子従業員3名。くわしくは当社まで。

●まるみ呉服店 (☎7-2092)

18歳から40歳までの男女従業員1名ずつ。

●白田建材 (☎8-2550)

ダンプ運転手を募集。

●サンライズ(株)(☎8-2511)

冬期臨時社員, 45歳までの女子30名。(11月~3月)



「となり百姓」という言葉がある。これは「となり」が稲刈りを始めたから、わが家でもやろう」式の農業を言うのだそうだ。

これは、日本の農業に自主性がないと言っているのではなく、四季がはっきりしている日本では、農作業の適期が短いため、どの家でも一致する事からきているのである。つまり、日本の風土が、常に他人に基準をおき比較するという日本人の気質をつくりあげてきた一例である。

「日本人とユダヤ人」の著者イザヤ・ペンダサンは「となり百姓」のセンスがあったからこそ、今日の日本の発展があったと説いている。例えば、日本の義務教育は明治初年に学制がしかれるや、わずか数十年にして就学率九九%になった。つまり、隣の家で学校にやるならわが家でも……

という意識がそうさせた。しかし、現在このセンスは別な形で残ってしまった。例えば、隣でピアノを買った。わが家でも……

また、親がわが子をたしなめる場合、「○○はいけないから止めなさい」と言うよりも、「そんなことをすると人に笑われるから止めなさい」と言う。これは、行動の善悪の基準を他人の目や他人の批判においているため、こういう言い方になるのである。事をおこすにまず他人をうかがい、自己の確立が次にくる。主体性がなく、ひいては「長い物には巻かれる」主義に陥りやすい。「となり百姓」のセンスはこのような欠点を持ち合わせている。

今は個性が生かされる時代。主体性の確立こそ大事な課題といえるのではないだろうか。

(広報委員・若月啓二)

ナイター野球 閉幕

第六回目を迎えたナイター野球大会は五月二十一日に開幕。町野球連盟に加盟している二十三チームをA、Dの四クラスに分け、五、六チームのリーグ戦で試合が続けられてきました。

四カ月間にわたり熱戦を繰り広げ、九月二十一日、全試合日程を終了、数々の思い出を残しながら、今シーズンの大会の幕を閉じました。

各クラスの優勝チームは次のとおりです。

▽Aクラス

ジャンポリー（監督・今

井仁志）

▽Bクラス

サンダース（監督・長岡

寿春）

▽Cクラス

F・F（監督・清野庄一

郎）

▽Dクラス

ブルーバーズ（監督・鈴

木光一）

古道を たずぬて ⑥

朝日軍道霧ふかし
昆沙門天の旗風に
風、雨を呼び雨、龍をよぶ
軍鼓のひびき、ときの声
戦機は熟すみだれ龍
はるかににらむ霞が城
われに勝利をたれ給え
上杉景勝、今ぞ起つ
朝日軍道は、今から約四百
年の昔、上杉景勝の重臣直
江兼継が、長井市草岡から
鶴岡市鱈淵まで、開削した
軍用道路である。



朝日軍道の道形が残る竜門付近

その目的は、上杉景勝が最上義光に対抗するためと米沢、庄内の連絡のために開かれた軍道であった。延々六〇竪、朝日連峰を縦断する突貫工事であった。

朝日軍道

長井市草岡

鶴岡市鱈淵

態であった。山形城には最上義光、会津城には上杉景勝また、米沢城には上杉の陪臣直江兼継、庄内には武藤義勝氏がそれぞれ、天下の形勢をにらんでいた。天正十七年武藤義勝が信濃国にお国替えとなった後、庄内は完全に上杉景勝の支配下に入った。ここで、上杉としては米沢と庄内をいかにして連絡するかが、問題となった。上杉の智勇兼備の名将直江兼継は朝日軍道開削を決断した。

先日、長井市草岡の青木家を訪問した。同家の古文書によると、

「草岡村玉蔵坊、宝光坊、平内、尾張、与惣右エ門この五人ノ者、庄内五之新道案内仕り、たびたび心勞申す。よって役儀免許せしめ候、右之趣善右エ門方申付候へ共、若失念之儀も候や、御給人衆中その御心得御尤一候、

慶長四至三月十五日

春日右エ門判
秀常 花押

御給人衆中
与惣右エ門は青木家の先祖であつて、朝日軍道の道案内だったという。

慶長五年（一、六〇〇）

天下分け目の戦いである関が原の合戦が展開された。

最上は東軍に、上杉は西軍に味方してそれぞれ戦場へと馳せ参じた。この時いち早く朝日軍道の動きを察知して、最上義光に注進したのが朝日一山の守護役、大沼の大行院である。同家の文書に曰く、

「今度景勝軍勢朝日山麓閑道ヲ伐リ開キ乱入ノ旨、注進セシムノ条神妙ノ至、仍 旧例ニ任ジ、朝日別当永ク修務セシメ国家鎮護ニ丹誠抽可者也
慶長五年八月一日
義 光 花押

大沼別当大行房

（文）／広報委員・長岡幸助





59年9月1日～9月30日届出

出生

区名 出生者氏名父名 続柄
 大暮山 阿部香織 一昭 長女
 大谷四 白田直美 剛 二女
 大谷六 渡邊悠也 賢一 長男
 粟木沢 遠藤雄貴 賢一 長男

死亡

区名 死亡者氏名年齢世帯主
 送橋 清野 シウ79 孝一郎
 大滝 柴田 昭一56 ミヨ
 常盤 佐竹しげ江83 幸雄
 能中 鈴木榮太郎92 久二雄

結婚

長沼 海野 ゲン79 與七
 古榎 渡邊 留蔵75 定雄
 本町 柴田 さを86 實
 宇津野 能中
 阿部 優 鈴木 智賀
 能中 前田沢
 海野 洋一 長岡久美子
 元町 東根市
 石黒 充宏 茨木 洋子

訂正について

九月号の戸せきの窓、出生の中、「夏草・海野裕明」を「長沼・海野裕明」に訂正します。

町民壽章と私

時間厳守に

つとめます

☆長岡一美さん(前田沢)



女の厄年、三十三を迎え、中部、連合若妻会会長としてがんばっている一方、タイピストとして、また、パレーポールに余念がない彼女。
 「近ごろ集まり事が多く、そのたびに時間は守らなければ、と私自身反省しています。仕事は、各会社への機械導入などで減ってしまいましたが子どもを育てながら、一人優雅に、また、自分の時間を大事に使っていきたくですね」とやや複雑な顔で答えてくれました。手芸に、スポーツに、さわやかママさんががんばります。(広報委員・柴田泰子)



社会福祉協議会へ

現金贈る

このほど、送橋の清野孝一郎さんから、恵まれないかたのためにと、社会福祉協議会へ現金二万円が贈られました。



30周年記念町民駅伝 16チームが健脚競う

町誕生30周年を記念した第一回町民駅伝大会は、10月10日、さわやかな秋晴れのもと16チームが参加して健脚を競いました。コースは町内一周48繞、中学生から壮年層まで年代別に16区間に分けて熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

▽総合順位

- ①和合A(3時間58秒) ②沢内A(3時間4分37秒) ③常盤(3時間6分14秒) ④上郷(3時間7分49秒) ⑤太郎(3時間8分21秒) ⑥玉ノ井A(3時間9分7秒)

▽区間一位

- 1区 佐竹庄吉(三中) 2区 安藤利昭(上郷) 3区 菅井恒好(和合A) 4区 岡崎ひとみ(宮宿) 5区 菅井道也(和合A) 6区 鈴木 満(三中) 7区 清野和子(沢内A) 8区 阿部弘美(常盤) 9区 長岡三千代(常盤) 10区 菅井千代太(和合A) 11区 鈴木利和(松程) 12区 鈴木美智子(三中) 13区 渡辺勝(沢内A) 14区 若月直樹(和合A) 15区 鈴木誠(和合A) 16区 菅井繁美(和合A)



朝日町が誕生して30周年、それを記念していろんな記念行事が行われている。「町民が広く参加できる行事、町ぐるみの行事が少なかったのは残念だ」という声がある。それをもっとだ。しかし、それを他人のせいにはなるまい。

我々自身そこまで盛り上げられなかったということでもあるまいか。ところで記念行事を云云する気持ちはない。それよりも、30周年という意義を少し考えてみたい。

30歳といえ人間であれば青年期、それも成熟の時期、いわば壮年ということだ。しかし、わが朝日町はどうだろうか。生活環境・産業・教育各分野にわたって、まだまだ多くの問題を抱えており、成熟期までにはかなりの道のりがあるように思う。しかしこの30周年を新たな節目とし、新たな角度から物事を考えて見る発想が求められているのではないだろうか。

地域づくりも産業も、物の価値感も、大きく変わろうとしている時代の流れに乗りおくれないうちに……。

(緑生)